

平成29年度事業報告書

29年8月25日から30年3月31日まで

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

1 事業実施の成果

法人設立までは任意団体で活動を行っており、8年前よりモンゴルやキルギス等の開発途上国に視覚障害者の為の生活・職業訓練学校を提供しました。国内においても点字ブロック利用に関する意識向上啓発活動等、視覚障害者に対してあらゆる援助活動を行ってきました。その後、更に事業を拡大し、事業運営を安定化させるために今年度NPO法人化をしました。

現在も継続的に行っている事業としては、開発途上国の劣悪な環境の中でわずかな治療費が払えないために、小児性白内障（日本では比較的簡単な治療）等の病によって失明していく20歳未満の子供達に手術を施す事業『開発途上国小児白内障治療プロジェクト』を推進しております。

新規の対象国としては、ミャンマーとネパールです。ミャンマーについては、認定NPO法人日本・ミャンマー医療人育成支援協会（岡山市北区野田屋町2-4-18）との共同事業として30年10月に治療実施予定です。この事業計画の準備・調整を今期行うことができました。

またネパールについては、公益財団法人ヤマト福祉財団（東京都中央区銀座2-12-18ヤマト銀座ビル7F）との共同事業として実施しております。昨年12月にネパールへ訪問し、該当地にある診療所等を視察したうえで現地の医療チームとの実施合意文章調印式を行いました。実際の治療の実施は平成30年12月の予定です。

既存の支援先として、今期はキルギスへも支援させていただきました。手術をうけられた子供達の人数は8名です。手術後の経過も良く、良好に事業の成果が出ております。

また国内での活動としては、いまや全世界に普及している点字ブロックの発祥の地は岡山ということで、8年前に岡山市中区原尾島の地に記念碑を建立しました。その時1967年3月18日に世界で初めて敷設された記念日として、日本記念日協会にこの日を『点字ブロックの日』を登録し制定させていただきました。

それ以来、毎年JR岡山駅前広場に於いて『点字ブロックの上に物を置かないで』という視覚障害者にとっての道しるべを守るための啓発活動を行っております。この活動には視覚障害者の方々は勿論ですが、岡山市内の中高生の皆さんもボランティアで参加していただいております。本年度は実に300人を超える人が集まり、道行く人々に活動の内容を訴えながらチラシ付のポケットティッシュを5,000個配布しました。

今年もこの活動の内容は新聞各紙やテレビ局でも広く報道されております。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額(千 円)
発展途上国における視覚障害者の視力の改善に関する事業	現地の環境や医療施設の調査・視察、及び現地医療チーム、プロフェッショナル・サポート・サービス・ネパールとの実施合意文章への調印。	平成29年12月7日から12月14日まで	ネパール	10人	本年度は0人 (次年度60人程度治療実施予定)	2,042
発展途上国における視覚障害者教育施設への支援と関係団体との連携事業	認定NPO法人日本・ミャンマー医療人育成支援協会との事業調整	平成30年1月15日から3月31日まで	岡山市	5人	本年度は0人 (次年度10人程度治療実施予定)	0
発展途上国における視覚障害者教育施設への支援と関係団体との連携事業	キルギスの小児白内障手術の実施	平成29年11月15日から12月末まで	キルギス	5人	8人	265

その他この法人の目的を達成するために必要な事業	点字ブロックの 日制定8周年定 期啓発活動	平成30 年3月1 8日	J R岡山 駅前広場	300人	5000 人	500
-------------------------	-----------------------------	--------------------	---------------	------	-----------	-----

特定非営利活動に係る活動計算書（NPO法人法上の活動計算書）

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

[税込] (単位：円)

全事業所

自 平成29年 8月 25日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	90,000	
賛助会員受取会費	453,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	6,947,980	
【その他収益】		
雑収益	218,000	
経常収益 計		7,708,980
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費		
諸謝金(事業)	90,000	
印刷製本費(事業)	663,413	
旅費交通費(事業)	1,733,716	
消耗品費(事業)	23,700	
保険料(事業)	2,000	
支払手数料(事業)	4,320	
キルギス事業費(事業)	265,804	
雑費(事業)	24,320	
その他経費計	2,807,273	
事業費 計		2,807,273
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
会議費	685,662	
通信運搬費	4,596	
消耗品費	12,000	
支払手数料	19,008	
管理諸費	771,916	
雑費	3,780	
その他経費計	1,496,962	
管理費 計		1,496,962
経常費用 計		4,304,235
当期経常増減額		3,404,745
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		3,404,745
当期正味財産増減額		3,404,745
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		3,404,745

貸借対照表

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金
全事業所

[税込] (単位:円)
平成30年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	48,556
現金	7,544	短期借入金	30,000
振替口座	3,475,757	流動負債計	78,556
現金・預金計	3,483,301	【固定負債】	
流動資産合計	3,483,301	固定負債計	
【固定資産】			
固定資産合計			
		負債合計	78,556
		正 味 財 産 の 部	
		【正味財産】	
		前期繰越正味財産額	0
		当期正味財産増減額	3,404,745
		正味財産計	3,404,745
		正味財産合計	3,404,745
資産合計	3,483,301	負債及び正味財産合計	3,483,301

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

平成30年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

財 産 目 録

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金
全事業所

【税込】（単位：円）
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
（現金・預金）			
現 金	7,544		
振替 口座	3,475,757		
現金・預金 計	3,483,301		
流動資産合計		3,483,301	
【固定資産】			
固定資産合計		0	
資産の部 合計			3,483,301
		《負債の部》	
【流動負債】			
未 払 金	48,556		
短期借入金	30,000		
流動負債 計	78,556		
【流動負債】			
固定負債 計		0	
負債の部 合計			78,556
正味財産			3,404,745

前事業年度の年間役員名簿

(平成29年8月25日から平成30年3月31日)

特定非営利活動法人ヒカリカナタ基金

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	竹内 昌彦	[Redacted]	29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
2	副理事長	谷口 真吾		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
3	同	竹内 直人		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
4	理事	中川 美登里		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
5	同	吉原 洋二		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
6	同	松浦 広司		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
7	同	逢澤 俊枝		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
8	同	近藤 勝彦		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し

9	同	岩本 達也		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
10	同	藤田 文雄		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
11	同	松田 奈緒		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
12	同	宮本 憲男		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
13	監事	安田 寛		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し
14	同	松本 達哉		29年8月25日 ～30年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。